

井原市立荏原小学校

児童生徒数 116名 ・学級数 8学級 ・教職員数 15名（平成26年7月18日現在）

○取組実践のキーワード

- ・基礎・基本の確かな定着
- ・学び合い（ペア学習・グループ学習）
- ・音読指導
- ・家庭学習

○標題（研究主題）

一人ひとりが生きる荏原教育の創造 ～基礎・基本を確実に獲得し、共に高まり合う児童の育成～

○取組を始めた経緯

本校は、元気で気持ちのよいあいさつや返事ができ、思いやりの心をもって周りを気遣うことのできる素直で素朴な児童が多い。また、全職員の向上心が高く、誠実に日々の職務に当たっている。そのことは地域からも認められており、昨年度の学校評議員による学校評価は全項目で非常に高かった。

しかし、平成25年度までに実施された全国学力・学習状況調査の結果は芳しくなく、その原因を究明するために、この研究主題を設定した。

○取組の実施体制

- ・校内研修会

全職員が年に数回の公開授業及び授業研究を行う。

- ・学力向上に向けた取組

全国学力・学習状況調査、岡山県学力・学習状況調査の結果から児童の実態等を把握し、研究主任を中心に具体的方策を設定し、全職員による協働実践を行う。

- ・個に応じた支援

児童の実態に応じた支援のあり方について研究し、指導体制を充実させる。

○学力向上に向けた具体的な取組

昨年度、校内研究の充実を図るために岡山大学より講師を招聘した。また、県外先進校における研究会に中核教員を派遣し、派遣先の学校の取組を伝達した。

今年度、上記の標題（研究主題）に沿って、校内研修を計画的に行っている。さらに、全国学力・学習状況調査に向けた学校独自の取組として、過去調査問題を繰り返して取り組ませたり、その解法を丁寧に解説したりした。夏季休業中には各学年で総合学力調査の分析を行い、平成27年度岡山県学力・学習状況調査に向けて教科別の対策部会を設置して、全職員が一丸となって調査結果の向上に取り組んでいる。

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

今年度の全国学力・学習状況調査における自校採点の結果、算数A大問1の正答率が97.8%であった。また、算数A全体でも正答率が76.6%となっており、昨年度と比較して有意な向上が見られる。

今年度はこれまで公開授業を2回行ったが、いずれも指導案を含み、基礎・基本の定着を図る明確な授業であり、特に若手教員には授業力向上に大変参考になる研修になったと思われる。

2 課題

全国学力・学習状況調査問題を活用した授業づくりとともに、Q-U調査を生かした高め合う集団づくりも促進する。研究主題で示した児童の育成に向けて、全職員が共通理解して研究に取り組む。

○取組の継続・発展の要因

夏季休業中を利用して、昨年度の岡山県学力・学習状況調査の結果を分析し、対策を講じる。また、全教職員が学力向上に向けて取り組むべき内容を共通理解して教育活動を進める。

○管理職・中核教員等のアクション

管理職も校内研修での助言や通常授業の参観などを積極的に行う。中核教員は校外の研修会に参加するとともに、若手教員のモデルとなる授業を積極的に公開していく。また、互いの授業を参観して研修する習慣を付け、授業力向上を図る。

○その他の資料・写真等



写真 共に高まり合おうとする児童の姿と
研修に参加する教職員



写真 つまづきを予測し、個別に支援を
行うT2の様子